

[illegible][illegible]

タイ國に於ける官民の對中國國情を
直に觀察せし、タイ國政府
に對する報告を、我々如く報告
するものなる、也。

[illegible]

「なに。」

「輝るお宝さへあれば、まだ、まだ……」

「嫌うない道理にあつても、輝るお宝を
めて見れば相討なまい。」

「これがお宝にあらぬ家の態度であり、決して立派な家の本質とならば現する所に於てあるや。」

「……」

「どうも然らず。即ち、輝るお宝の代り夫婦・密通に應ずるに依りては現する所である。」

「輝るお宝申さん。もう宜しいと、實力を下でカンと行ふのみ。」

「……」

「止むことと要す。」

ニ、ヤ、ノ洗石鹼
洗剤

二酸化亜鉛

日本油脂株式会社

こゝで、京都の上府第一郎が
二三人を従えて通り掛つた。

[illegible]

▲ 田 壽

▲ 歌集

▲ 運命

▲ 謎の口述

▲ 田 壽

▲ 歌集

▲ 運命

▲ 謎の口述

▲ 田 壽

▲ 歌集

▲ 運命

▲ 謎の口述

▲ 田 壽

▲ 歌集

▲ 運命

▲ 謎の口述

▲ 田 壽

▲ 歌集

▲ 運命

▲ 謎の口述

▲ 田 壽

▲ 歌集

▲ 運命

▲ 謎の口述

[illegible]

[illegible]

建國策

梁士強

建國策

報

國

社

きのふ 内閣書記官長より發表

次回は十一日頃か
陸軍案の検討一應終了

[illegible]

を撃墜す

地上

[illegible]

開催不能か

[illegible]

支那現銀 六百萬元買入か

ワシントン特電「七日
發」隨に「よはアメリカ海軍
徑に鐵總額六萬五千元に
上る支那現銀を購買す」
の契約を行つたと傳へ
られるが有聲電報當時は
支那現銀を目前に賣中たもの
の爲に陸海關が現れてゐるから
この報は事實かうといつてゐ
る。關の銀は出し港は
判明しないが恐らく重
慶に集めたもの、英領口
ルマのランゲンランに陸
路輸送してサンツラン
シスコ向け船積みとな
すものと云ふ。然れ、
に支拂れることとならう
米駐日代理大使
吉澤局長と要談
「東京電」ノアムエリ
駐米大使は八日午後零五十分
に吉澤局長を訪問、要談の後
三十分終了した

法幣底無しに崩落

上海特電「八日發」 昨、上海の物價、綬上りに暴騰し、物價に激震した。昨、上海の物價、綬上りに暴騰し、物價に激震した。昨、上海の物價、綬上りに暴騰し、物價に激震した。

英國水兵

支那人に暴行
角石に不祥事件勃發

經濟問題 第三國と交渉中
有田外相、閣議に報告

[illegible]

今次旱害に伴ふ
歳入缺陷額報告

[illegible]

ダ市、ナチ黨首
急遽伯林へ

[illegible]

で急遽ベルリンに向
「宣戦ノオルス

ラムス・氏出
ナ 衆大會有
「ムラハ日同盟」期三に
にわたる手紙の密件を
開したサケル重宝を
七日午後ヤベスルキと
「ムラハ日同盟」期三に
にわたる手紙の密件を
開したサケル重宝を
七日午後ヤベスルキと

提督この英水兵等は假牌を以て支那人をめつた打ちに賭りつゝ遂に東郷副将五名を出しその

つち、一名は「聖光」の別名を以て至
うた。而も「ライオン」語たるイ
人の否定せるべし。然らずとも其はイ
ギリス「聖光」部所出地なるに於て
るが甚難い。ナポリとシベリア間の所有地
に非ずして乃ち占領地たると同所に
下り、かかる處所の不詳を見るた

五護業株式會社

トルベン

電報本番②美公

九氏

神大牧師殿にはラムスビー
氏の眞意あることを始めて
了知し、我等は我等の手で
トリン城及び艦隊を行なふ
ねと絶望し、斯様に多大の野
心（愛慕）ラムスビー

[illegible]

御検討下さったでせうか
物凄く賣行を示
してをります

漫画

本 讀

本書が
發賣される
や、之こそ安心して與
へられる漫畫だ、品性の
向上、情操陶冶に役立つ漫
畫だ、之によつてコドモ漫畫が淨化さ
れるだらう」と好評を頂いてをります

僕ノ先生

歴野九葉作・川原久仁於書
新製版多色刷 定價四十錢

ツシノ坊ヤ

中村篤九作・横山陸一書
新製版多色刷 定價四十錢

良寛サマ

倉金眞行案・書
新製版多色刷 定價四十錢

士學の如く簡便に成長して行く鉄後の子供の生活を描いたもので、父母の心を清ら
け、生活に豐實にする。
外に◎動物エバナシ：武井武雄◎日吉丸：中村圭助等別に科學電話數篇

外に◎動物エバナシ：武井武雄◎カウチヤン：原春雄等別に科學電話數篇

F 1414

[illegible][illegible]

ケレゴール

[illegible]

花柳病外科 2736



頭痛解消に
疲勞恢復に
口中殺菌に
食慾増進に
惡疫豫防に



空に残れる (80)

尾崎士郎 (作)

高木 清 (訳)

「空に残れる」は、尾崎士郎氏の代表作である。この作品は、戦時下の日本社会を背景に、人間の尊厳と愛をテーマにした小説である。高木清氏の訳筆は、原作の持つ力強い情感をうまく再現している。



吉川英治 随筆

宮本武蔵

品切中のところ
大増刷出来ノ
新装版出版

（一）八十銭（二）六十銭

飛出た荒鷲の如く

九日(水)

第一放送

朝の部

夜の部

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

九日(水)

第一放送

朝の部

夜の部

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

白右下隅にヒット

形勢黒の樂觀を許さず
解説 七段 加藤 信

（一）八十銭（二）六十銭

飛出た荒鷲の如く

九日(水)

第一放送

朝の部

夜の部

飛出た荒鷲の如く

飛出た荒鷲の如く

九日(水)

第一放送

朝の部

夜の部

飛出た荒鷲の如く

カモス魔

歯は心の
鏡！
曇ら
ず可らず

にきびの

穴を塞ぎ
手垢を治す
美容界の
目新しい話題

ひ願のや坊

ラチオは
有名品を